



ニュースレター再開します！

発行元：中山優子法務事務所
〒810-0001
福岡市中央区天神4-5-10-704
TEL：092-707-3617 FAX：092-707-3618

夢ランチェスター通信



次女こはは1歳のお祝い♪
In 秋月「清流庵」

久しぶりのニュースレターとなりました。2023年も半年が経過しましたね。年明け早々に、次女が肺炎で入院するなど大変でしたが、無事に2月で1歳を迎え、今では早くもイヤイヤ期ではなかろうかと思うくらい自我強めに育てています。長女はもうすぐ3歳になります。イヤイヤ期は何だったんだろうと思うくらいに物事をよく理解でき、保育参観では、泣かずに私に良いところを見てもらおうと張り切っていたのが印象的でした。（0歳児の頃は生活発表会で大泣きして演技全くできませんでした）子どもの成長は本当に嬉しいですね。

さて、長かったコロナ禍も終わり、イベントや懇親会などが活発に行われるようになりました。私の最近の楽しみは「一人呑みin焼き鳥屋♪」読書が進むので最高です♪



仲良く
保育園
へ登園
♪



地元の南区大橋にて
1人でも入りやすい焼き鳥屋さん
に巡り合う。昨年亡くなった母も
焼き鳥大好きだったので、一緒に
楽しんでいるつもりです♪



長女ゆかな2歳♪
保育参観ではママを
ずっと目で追って
ました(笑)



ごんざ虫の物語 ～会社経営の意義・教訓～

「ごんざ虫」の物語は、福岡県添田町にある英彦山に伝わる昔話です。

英彦山のふもとの村に貧しい一家が住んでいた。どうしたわけか、一家に不幸ばかり続いた。夫婦には三人の子供がいたが、母は末っ子を生んだあと産後の肥立ちが悪く死んでしまった。父も心労から床に伏す身となった。長男の源吉（8歳）は、親孝行で心やさしい子であった。けれども、貯えの全くない一家を支えるには、親戚を頼るしかなかった。そこで隣村の権三おじさんをたずねて苦境をうったえた。権三は金持ちであったが強欲で、わずか一〇文（1,000円くらい）の金を思きせがましく貸しただけであった。それだけでは、一家は二〜三日しかしのげない。源吉はふたたび権三に助けを求めに行ったが、追い払われてしまう。泣く泣く帰ってくるときに、ふいと一人の老人が姿を現した。その手に粗末な下駄を一足持ち、源吉に「この下駄をお前に授けよう、望みごとがあれば、これをはいて転ぶがよい、転ぶたびに小判が一枚ずつ出る。しかし、人のためになる望みであればよいが、自分さえよければいいと思いながら使うと体が小さくなることを忘れるでないぞ」といった。源吉は「父のため、幼い弟たちのために」と願い下駄をはき転んだ。小判を手に入れた源吉は、家族の食べ物を買ひ、その後も父のために骨身をおしまず看病したので、父の病は日一日と快方に向かった。暮らしは安定へと向かっていく。

噂を聞きつけた権三は、その下駄がほしくてたまらず、源吉の家にやって来て「この前貸した一〇文をそっくりそのまま返してくれ、それがだめならこの下駄をもらって行く」というと、むりやり下駄をつかんで帰ってしまった。

翌日、源吉は下駄を返してもらおうと、権三の家にかけた。しかし、おじの姿を探すがどこにも見当たらない。すると、土間にはまばゆいばかりの小判の山があり、そこに小形の見なれない虫が一匹しがみついていた。そう、権三は自分の欲のためだけに下駄を使い続けた挙句、小さくなって虫になってしまったのだ。これが「ゴンザ虫」である。



★ごんざ虫のお話から学ぶこと・・・

- ◆経営の目的：「お客様づくり」「ファンづくり」
- ◆売上：「結果」
- ◆利益：「結果の結果」「将来の備え」

であると、経営の神様ドラッカーも伝えています。

長かったコロナ禍での制限も、5類移行により緩和され、終わりを迎えました。これからはコロナで優遇されていた制度や助成金もなくなり、融資も返済がスタートします。労働保険が増額され、インボイスも控えている中、経営者にとって厳しい環境へ突入していくのは言うまでもありません。だからこそ、企業としての存在価値（真価）が問われてくると思います。売上が下がると、人間でいうところのカロリーが不足することと同じ現象が起きます。資金不足の不安から集中力が落ち、マイナス思考に陥り、焦ってしまい、正しい判断ができなくなります。それは、経営者が「お客様視点の経営」を忘れ、「自社の売上至上主義」へ陥ることです。

自社がお客様に評価されていること、求められていることは何か？それに十分にお応えできているのか？を考えずに「値上げ交渉」「売上が足りない」等、自社都合で経営判断を進めていくと、それはお客様への不誠実な対応へととなり、ご縁がなくなることにつながります。（一時的に利益を得たとしても、結果としてごんざ虫のようになっていく）

自社は「ごんざ虫」にならないように、今一度、「経営理念」「経営ビジョン」の見直し、共有をさせていただきます♪ 私は趣味でカンブリア宮殿を見るのが好きですが、順調な経営をされている会社は例外なく「利他の心」があります。そういう会社に良い人材も集まると思いますので、引き続き色々研究を続けていきたいと思っています。というわけで、今回のニュースレターは「採用」について触れてみたいと思います！